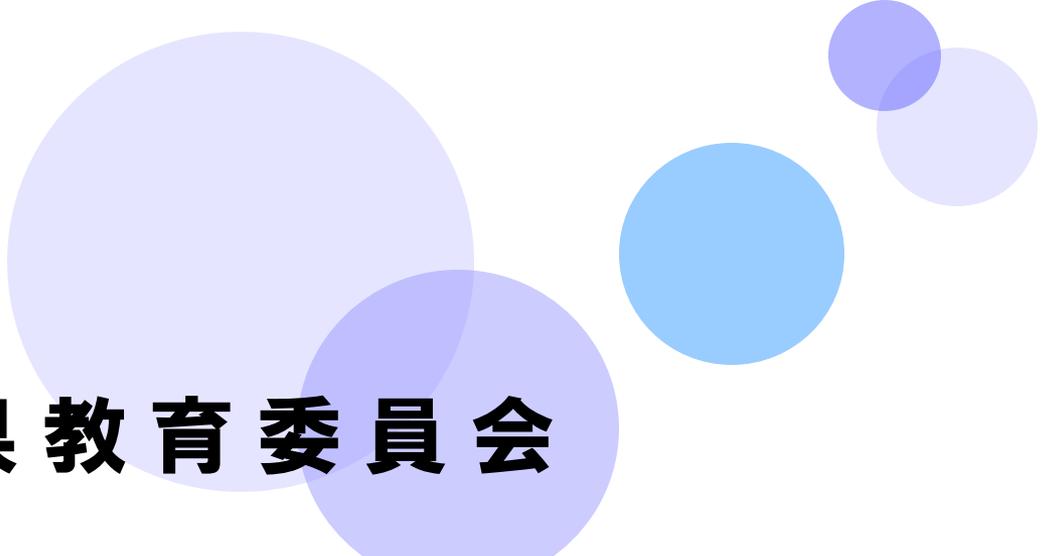


令和元年度 協働活動支援員・協働活動サポーター等研修会

地域学校協働活動推進事業について



広島県教育委員会

広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造
広がる！深まる！広島版「学びの変革」

地域学校協働活動とは？

地域学校協働活動とは

【定義】

幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、**「学校を核とした地域づくり」**を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして、様々な取組を組み合わせる活動

様々な地域学校協働活動

定義

「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして、以下の様々な取組を組み合わせる活動

学びによるまちづくり・ 地域課題解決型学習・郷土学習

- ◆地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- ◆地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習 など



放課後子供教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



地域未来塾

- ◆中学生・高校生等を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



家庭教育支援活動

- ◆寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり など



学校に対する多様な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援 など



地域の行事、イベント、お祭り、 ボランティア活動等への参画

- ◆地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画 など



地域と学校の連携・協働について

背景

- 中央教育審議会答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方や今後の推進方策について」(平成27年12月)

- ・地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進することや、同活動を推進する「地域学校協働本部」を全国的に整備すること
- ・全ての公立学校において、地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みとして、学校運営協議会制度を導入した学校(コミュニティ・スクール)を目指すことや、学校運営協議会の制度的位置付けの見直しも含めた方策を講じていくこと
等が提言された



- 社会教育法、地方教育行政法(平成29年3月改正、同年4月施行)

上記の中教審答申や「次世代の学校・地域」創生プラン(平成28年1月)を踏まえ、「地域と学校の連携・協働」を全国的に推進するため、

- ・教育委員会が地域住民等と学校との連携協力体制を整備することや、「地域学校協働活動推進員」の委嘱に関する規定を整備(社会教育法)
- ・学校運営協議会の設置(コミュニティ・スクールの導入)を努力義務化するとともに、学校運営に必要な支援についても協議することを規定(地方教育行政の組織及び運営に関する法律)



目標

- ・全ての公立学校において学校運営協議会制度が導入されることを目指す
 - ・全ての小中学校区において地域学校協働活動が推進されることを目指す
- (第三期教育振興基本計画 2018年度～2022年度)

地域学校協働活動のポイント

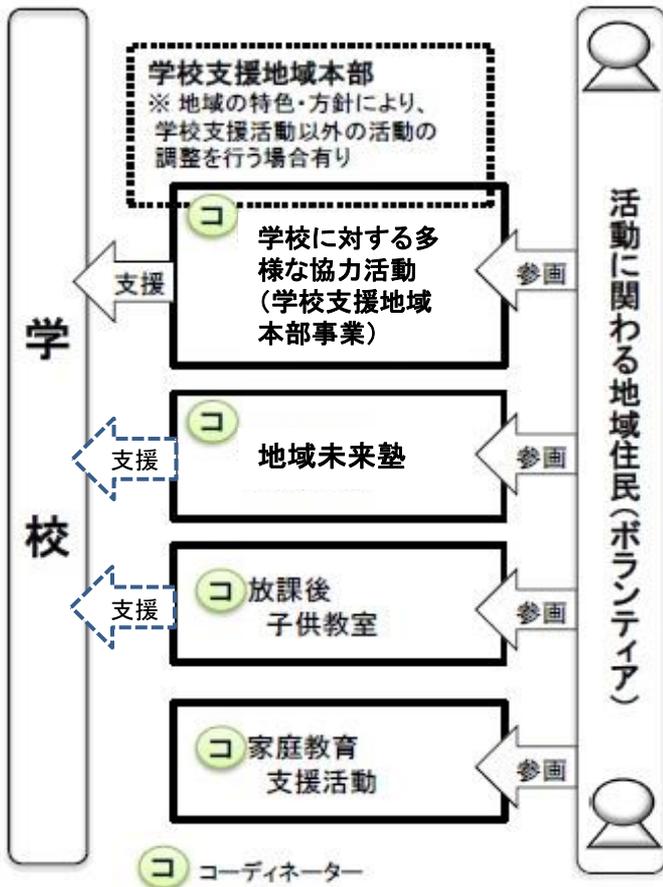
- 「個別の活動」を
「総合化・ネットワーク化」
- 「支援」から「連携・協働」へ
- 「コーディネート」機能の充実

今後の地域における学校との協働体制（地域学校協働本部）の在り方 ～目指すべきイメージ～

これまで

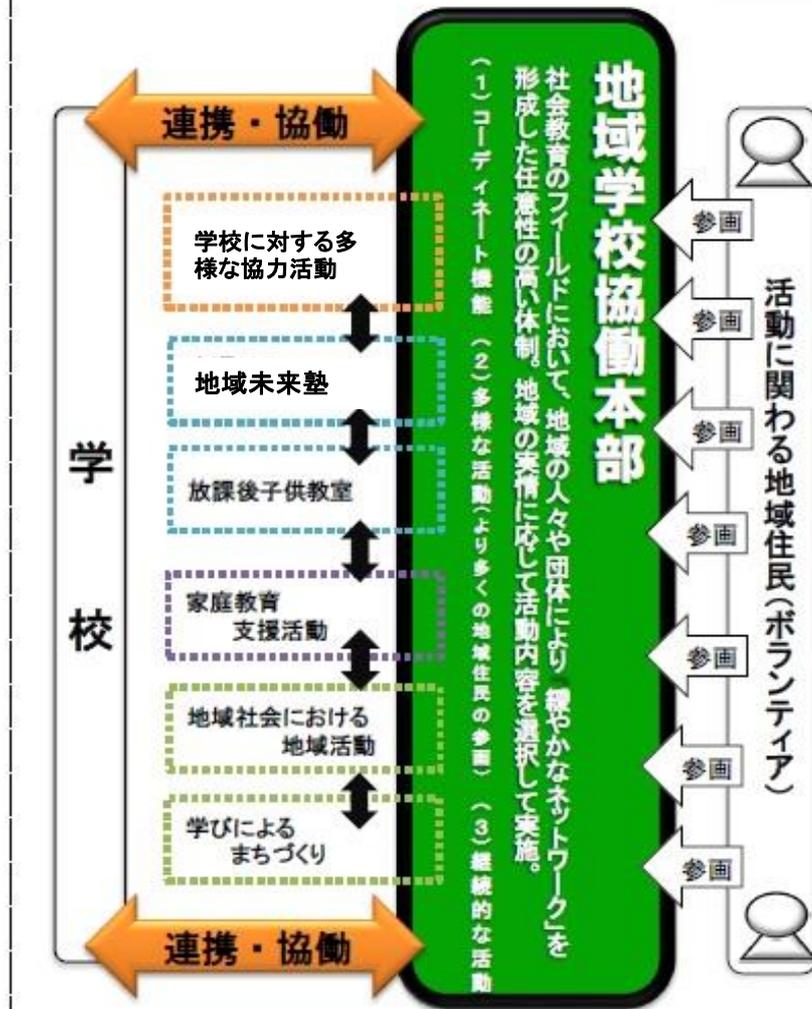
【これまでの課題】

- ・それぞれの活動ごとにコーディネーターがなされ、必ずしも横の連携が十分でない。
- ・コーディネーター機能の大部分を特定の個人に依存し、結果として、持続可能な体制がつくられていない場合も多い。



・「個別の活動」を「総合化・ネットワーク化」
 ・「支援」から「連携・協働」へ
 ・「コーディネーター」機能の充実

今後

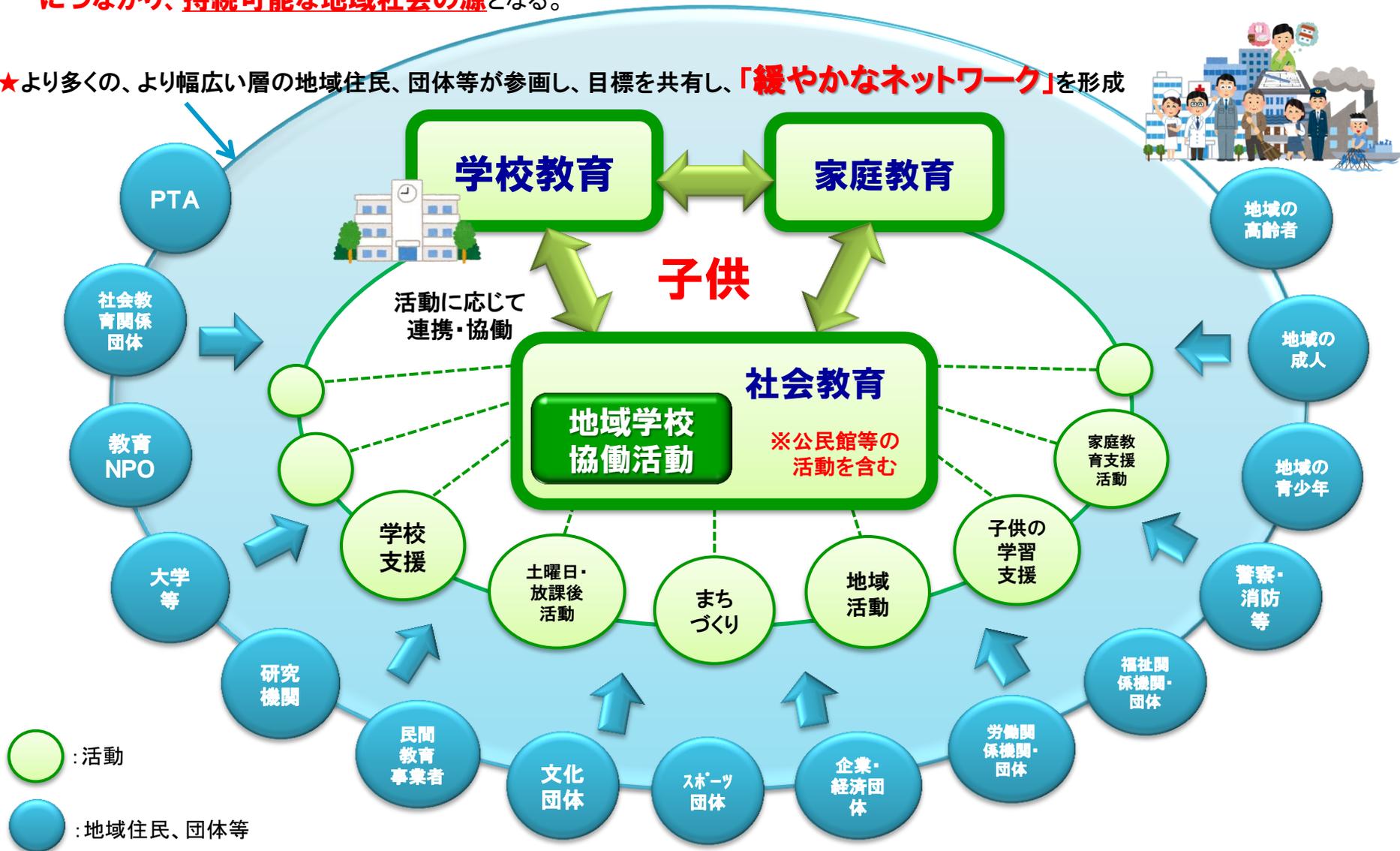


地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

◎ 次代を担う**子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有**し、地域社会と学校が協働。

◎ 従来の地縁団体だけではない、新しいつながりによる**地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源**となる。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「**緩やかなネットワーク**」を形成



地域学校協働活動推進事業(広島県)

地域全体で子供たちの成長を支えるため、地域と学校が連携・協働し、地域の教育力の向上及び地域の活性化を図る。

- 指導者研修会の実施 地域学校協働活動推進員やボランティア等の資質向上や情報交換等
- 大学生のボランティアチーム「ワクワク学び隊」の派遣 大学への協力依頼、学生チームの募集と登録、派遣
- 実践交流会の開催 地域や学校の実情に応じた特色・魅力ある活動の事例発表や意見交換等

地域学校協働活動

「地域学校協働活動推進員」等のコーディネートにより、
地域と学校が協働して教育活動を実施
※ふるさと発見学習 ※防災学習
※学校の環境整備 等

学校運営協議会

(コミュニティ・スクール)

学校運営・その運営に必要な支援
に関する協議

連携

地域未来塾

対象：すべての中学生、高校生

学習支援の場

地域住民の協力による、学習習慣の定着を目的とした学習支援

放課後子供教室

対象：すべての小学生

学び・体験・交流・遊びの場

- ・スポーツや文化活動等の体験活動
- ・地域の大人や異年齢の子供との交流
- ・予習や復習、補習等の学習活動

放課後児童クラブ

連携

要請

派遣

要請

派遣

大学生ボランティアチーム ワクワク学び隊

【ね ら い】 放課後子供教室等の活動内容を充実・活性化 ※大学生の社会貢献活動への参加を支援

【チームの構成】 県内の大学に在学している学生が複数人で構成

【活動内容】 実験、観察、工作、音楽、英会話、レクリエーション、学習支援 等



大学生ボランティアチーム 「ワクワク学び隊」活動の様子



お菓子づくり



バルーンアート



演奏



ドッジボール



レクリエーション



工作

地域学校協働活動の取組事例



【放課後子供教室・地域未来塾】（庄原市）

教育プロジェクト事業 総領自治振興区子供事業

H28「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

- ・住民参加による地域の教育力向上
- ・中学生への学習支援（放課後塾）



【学校支援活動】（北広島町）

千代田地域 学校支援連絡協議会

H28「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

- ・家庭で育て 地域で鍛え 学校で磨く
千代田っ子（スローガン）
- ・千代田っ子フェスティバルの開催



【地域未来塾（放課後子供教室）】（安芸高田市）

安芸高田市 無料公営塾 地域未来塾（H29～）

- ・市内全小学校(13校)(5・6年生)で実施
- ・家庭学習支援コーディネーター（校長OB）の配置



【放課後子供教室】（神石高原町）

ゆきキッズクラブ

H29「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

- ・地域資源（特産物等）の活用
- ・公民館（協働支援センター）によるコーディネート



【地域学校協働基盤活動】（廿日市市）

地御前小学校区学校支援地域本部 地小っこ応援団

H29「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

- ・校内に「ふれあいルーム」（本部事務局）を設置
- ・「ボランティアガイド」を活用した事前研修

全国の表彰事例等はこちらから↓

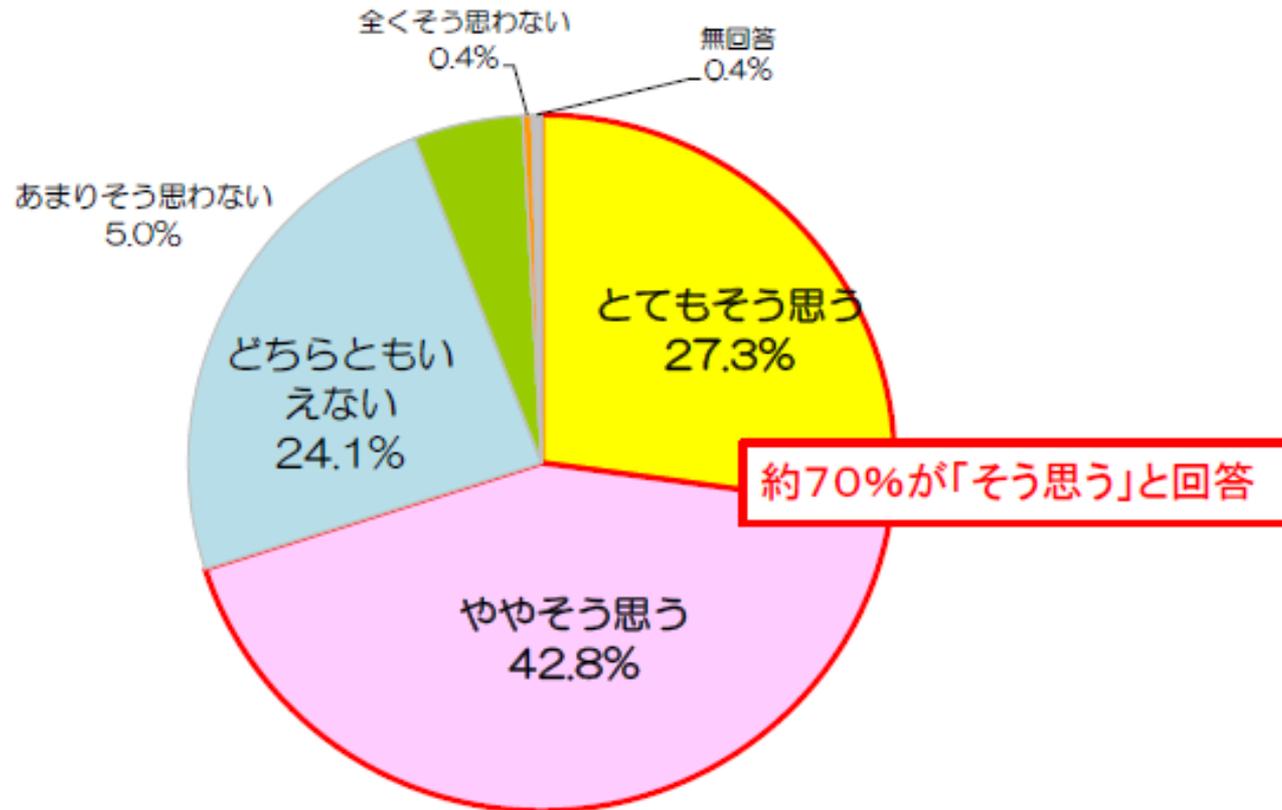
学び未来 表彰

文部科学省WEBサイト
「学校と地域でつくる学びの未来」
<http://manabi-mirai.mext.go.jp/>

参考URL
<http://manabi-mirai.mext.go.jp/exam/commendation.html>

地域学校協働活動の効果（教員）

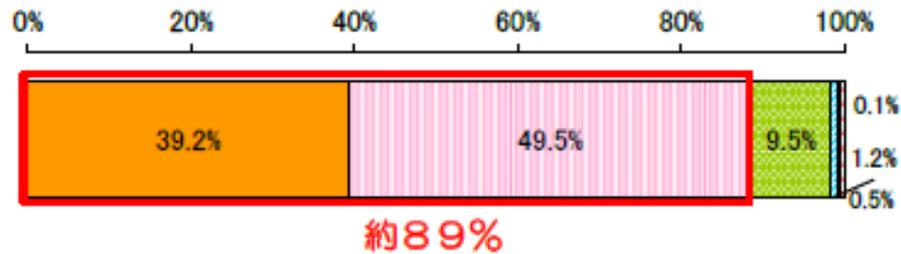
地域学校協働活動を実施する学校に対する調査によると、「地域住民が学校を支援することにより、教員が授業や生徒指導などにより力を注ぐことができたか」という問いに、約7割以上の学校が「そう思う」と回答。



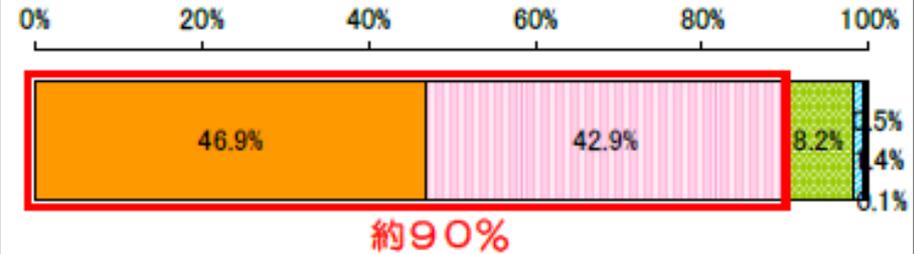
地域学校協働活動の効果（子供，地域住民）

1. 子供たちへの効果

◆実際に本部事業に参加してみても、子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、**コミュニケーション能力の向上**につながった。

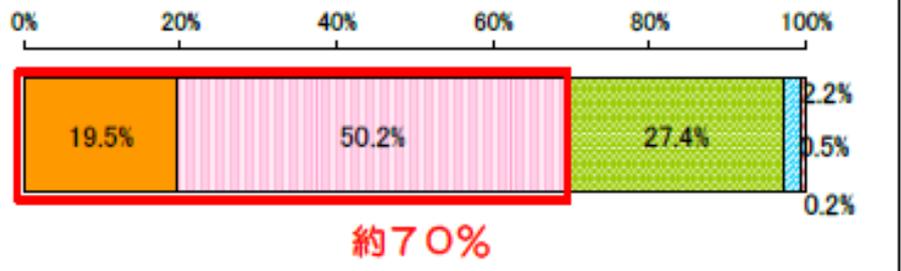


◆実際に本部事業に参加してみても、子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、**地域への理解・関心が深まった**。

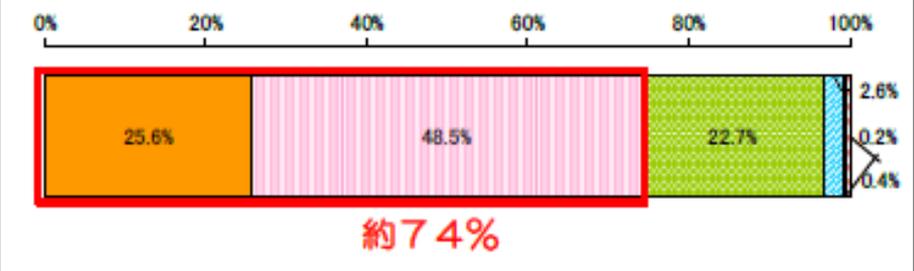


2. 地域への効果

◆実際に本部事業に参加してみても、地域住民が学校を支援することにより、**地域の教育力が向上し、地域の活性化**につながった。



◆実際に本部事業に参加してみても、地域住民の**生きがいづくりや自己実現**につながった。



とても思う

やや思う

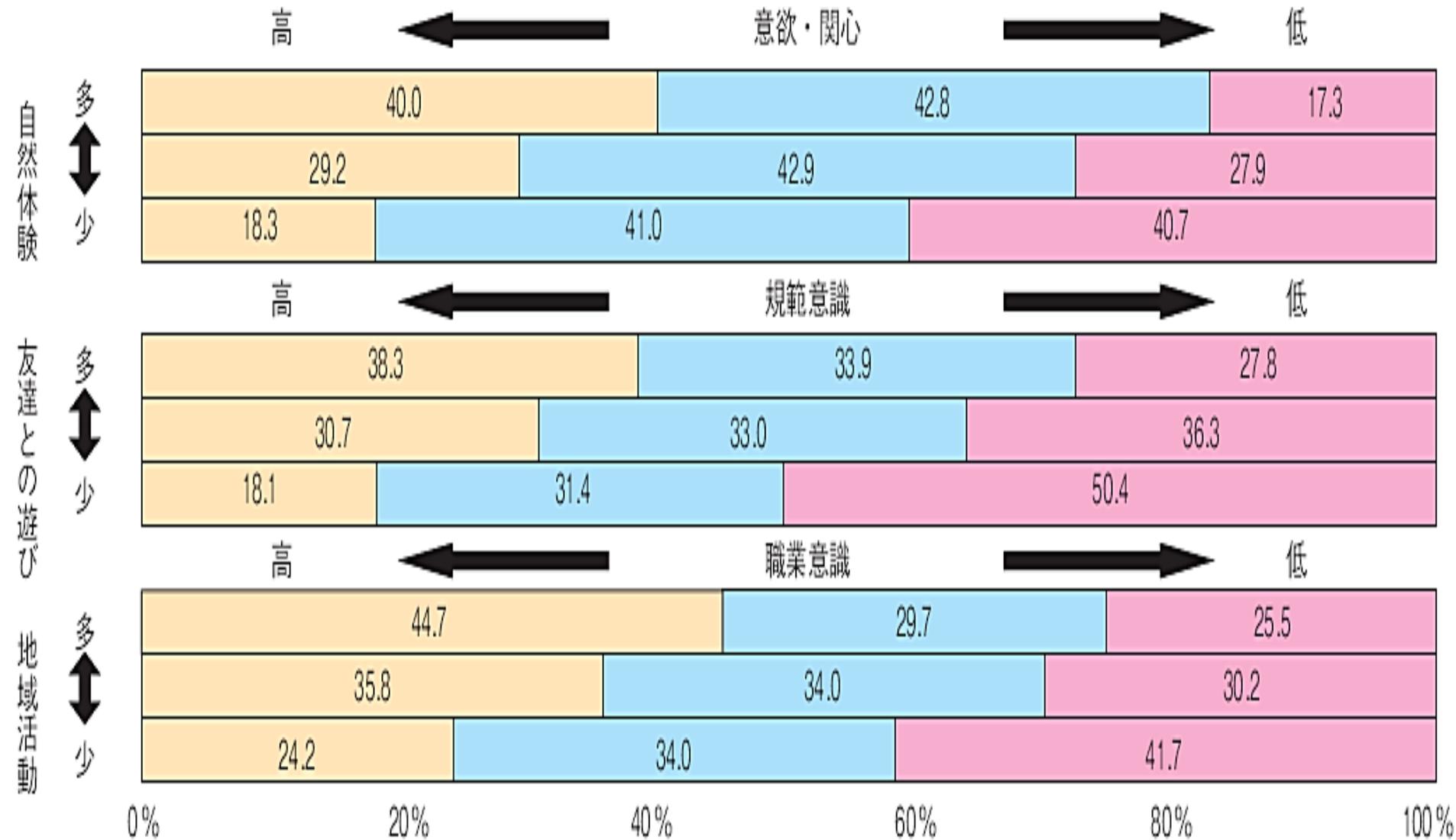
どちらともいえない

あまりそう思わない

まったくそう思わない

無回答

子供の頃の体験と大人になってからの意欲・関心等の関係



(独立行政法人国立青少年教育振興機構「子ども体験活動の実態に関する調査研究」報告書(平成22年10月)より作成)

御清聴ありがとうございました。



子供たちの未来のために・・・。